

自己評価報告書(最終報告)

報告者

生活・健康系コース(技術・工業・情報) / 米延 仁志

■平成25年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 教員養成大学教員としての授業実践

中央教育審議会は、「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」答申したが(平成24年8月28日)、その中で「教員を高度専門職業人として明確に位置付ける」と提言している。この答申の考え方を実現するため、教員養成大学に籍を置く教員として、将来、教師を目指す学生に対してどのような授業実践を展開すればよいか。あなたの取り組みを、①授業内容、②授業方法、③成績評価の三つの観点から示してほしい。

1. 目標・計画

学生が教科に関する高度な専門的知識と新たな学びを展開できる展開できる実践的指導力を身につけられるように努力する。そのために

1. 技術科のものづくりに関する基礎的・基本的知識と技能の習得を重視する。
2. 思考力・判断力を養うために鍵となる重点項目を設定し、それらに関して対話を重視した講義を展開する。
3. 知識、技能についていくつかの観点を設定し、講義ごとに重み付けを行い、評価する。

2. 点検・評価

目標通りに計画を進めた。

Ⅱ. 分野別

Ⅱ－1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

- ・担当授業の学習内容の精選とテキストの更新に取り組む。
- ・学生の相談に随時応じ、自らの課題解決について、学生が自律的・主体的に取り組むことを促す。
- ・教員採用試験対策等に積極的に関与する。

2. 点検・評価

目標通りに計画を進めた。
教採二次対策に協力した。

Ⅱ－2. 研究

1. 目標・計画

- ・既採択の科研課題の推進に全力を尽くす。また、本学理事、事務組織に協力を要請する。
- ・国内外の共同研究を精力的に遂行する。
- ・研究成果を纏め、論文を出版する。
- ・領域融合的・国際的な共同研究を活発に行う。

2. 点検・評価

目標を計画通りに進めた。
研究成果を発表した(論文8編, 内査読有り7編)。

Ⅱ－3. 大学運営

1. 目標・計画

基幹業務であるべき教育・研究を優先するが、担当する委員会等に参加し本学の運営に貢献する。

2. 点検・評価

地域連携委員を務めた。

Ⅱ－4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- ・研究評価(国内外の研究におけるレビュー等)に全力を尽くす。
- ・研究課題を中心に講演会や公開シンポジウムを積極的に行う。
- ・国際的な共同研究を推進し, 本学の存在感を国際的に高める。
- ・附属学校での教材作成への協力や提供を行う。

2. 点検・評価

目標を計画通りに進めた。
附属中学LFタイムで講師を進めた。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

Science等トップランクジャーナルで研究成果を公開した。
上記に関連して国内外多数の新聞・ネットニュースで記事が掲載された(日本語13件, 英語22件, スペイン語11件, ドイツ語3件, ポルトガル語1件)。
研究成果に関連したテレビ番組がNHK・サイエンスZEROで放映された。